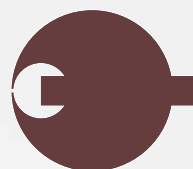


未来のまちづくりを共に考える

大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL 冬号(第10号)



NARA PREFECTURE

奈良県



巻頭インタビュー

なら瑠璃絵実行委員会 会長 見山 高幸さん

世界遺産の社寺と灯りで 冬の奈良に彩りをそえる

「なら瑠璃絵」10年の歩み



なら瑠璃絵実行委員会 会長 見山 高幸さん

世界遺産の社寺と灯りで 冬の奈良に彩りをそえる 「なら瑠璃絵」10年の歩み

なら瑠璃絵実行委員会
会長

み や ま た か ゆ き
見山 高幸さん

奈良を代表する社寺である春日大社・興福寺・東大寺(以下、三社寺)と奈良国立博物館を幻想的な光でつなぐ冬のイベント「なら瑠璃絵」が平成31年2月に10回目の節目を迎えます。これまでの歩みと今後の展望について、なら瑠璃絵実行委員会 会長の見山高幸さんにお話を伺いました。

冬の奈良の魅力を発信 「なら瑠璃絵」ができるまで

奈良は2月になると観光オフシーズンと言われ、訪れる人が少なくなり

ます。その状況をなんとかしたい、奈良の魅力を全国に発信したいと考え、奈良地域の青年3団体(奈良商工会議所青年部、奈良県経営者協会青年部会、奈良青年会議所)有志で実行委員会を立ち上げ、生まれたのが「なら瑠璃絵」です。イベントを企画するにあたり、様々な議論を重ねてたり着いたのが「三社寺を巡って手を合わせ、幸せを祈る」「三社寺を光の回廊でつなぐ」というコンセプトでした。この企画を実施するために、行政の方とともに三社寺および奈良国立博物館にご協力をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

工夫を重ねた10年間 社寺をつなぐ光に魅せられ

開催当初から今に至るまで、試行錯誤の連続です。第1回目は、三社寺の夜間特別拝観と奈良国立博物館の夜間開館が主体で、開催期間も現在の7日間より少ない4日間でした。底冷えする奈良の2月の夜にも関わらず、当時はイルミネーションの数も少なかったのですが、予想を上回るお客様にお越しいただき、凛とした特別な空間をお楽しみいただきました。しかしながら、三社寺を巡るルートは初めて訪れる方にとって分かり

にくいという課題がありました。そこで、「三社寺を光の回廊でつなぐ」というもう一つのコンセプトをさらに重視し、奈良公園全体でイルミネーションを楽しんでいただけるようにしました。奈良春日野国際フォーラム(以下、I・R・A・K A)の庭園に広がるイルミネーションは特に人気がありますが、始まったのは第5回目です。それから麓でのイルミネーションをご覧いただいたことにより、「なら瑠璃絵」はイルミネーションのイベントだと広く認知されるようになりました。

第8回目からは、夜の三社寺と奈良国立博物館の特別な空気をより多くの方に知っていただけよう、従来から浮雲園地や春日野園地で実施していたイルミネーションに代わり、



奈良春日野国際フォーラム麓～I・R・A・K A～
冬七タロードのイルミネーション



春日大社参道のミラーポラー(写真は昨年度の様子)

三社寺をつなぐ回廊をイメージした灯りの配置に注力しました。

さらに第9回目には、東大寺大仏殿内の参道にムービングライトを使用した新たな演出を始めました。そして、ようやく光に沿って三

社寺を巡るといふ当初のコンセプトに近づく形を作ることができました。

イルミネーションの配置や会場の順路は実行委員会で話し合いながら決めていきますが、会場の設営は実行委員会の建設部会が担当します。すべての設営が終わって試験点灯ができるのは直前の一発勝負で、そこからギリギリまで微調整を重ねます。イメージ通りの色合いで光が届くのか等、ハラハラすることだらけです



夜参り提灯は、お客様に提灯を持っていただき、瑠璃絵ナビゲーターが各会場を案内します

が、実際に点灯してみるとホッとします。おかげさまで、今では40万人近いお客様にお越しいただく催しとなりました。まだまだ課題は残されているものの、お客様の「きれいだね」というお声は何よりも嬉しく感じています。

冬ならではの苦労も地道に解決法を模索

冬ならではの苦労ももちろんあります。寒波や天候不順はイベントの来場者数に大きく影響します。普段、奈良公園は夜間の明かりがほとんどない場所ですから、気温が下がって雨が降ると地面が凍ってしまうこともあります。大雪で最終日が中止になった年もありました。毎年、イベント期間中は自然を相手に対応に追われています。「なら瑠璃絵」は、幅広い世代のボランティアスタッフの皆さまに支えられ運営をしています。人数の確保も課題です。季節柄、寒さの影響もあり、どうしても人数が集まりづらくなることや、ちょうど受験や就職活動のシーズンと重なるため学生の皆さまの参加が少ない状況にあります。そのため、地元企業にお願いし、人的協賛という形でご協力いただいています。ボランティア

アに参加してくださった方が翌年はお客様として来てくださるなど、人の繋がりはありがたいですね。寒い冬の夜に来てくださるお客様にもっと喜んでいただけるように、課題を一つひとつクリアしていきたいです。



ボランティアスタッフが受付などをし、「なら瑠璃絵」を支えています

新たな関わりを作り長く続くイベントへ

平成31年、「なら瑠璃絵」は第10回目の節目を迎えます。記念の年にふさわしい企画として、2月9日に春日野園地で皆さまのとおっておきの願いと共にスカイランタンを飛ばします。発表後はメディアの方からのお問い合わせも多く、期待していただけているのを感じます。ほかにも、子どもたちにも喜んでいただける演出を企画中です。10年続いた「なら瑠璃絵」を次の10年も継続して開催するためには、新たな動きが必要です。今以上にお客様に喜んでいただけるイベントにしたいですね。実行委員会

だけで動き続けると、次第に外部の声が聞こえづらくなります。例えば、協賛企業にイルミネーションで参加していただけるエリアを設けたり、地域や行政の方との連携をより一層深めることで、これまでとは違った視点で展開していけるのではないかと考えています。

奈良公園バスターミナルにも期待！さらなる魅力発信を

奈良公園や平城宮跡歴史公園などで開催されている様々なイベント等について、観光客にも分かりやすいPRが必要と感じています。

「なら瑠璃絵」の会場である奈良公園周辺に目を向けますと、現在、県が進める大宮通りプロジェクトの一つとして、平成31年春に「奈良公園バスターミナル」の開業が予定されています。このバスターミナルは単なる発着所ではなく、奈良公園の魅力はもちろん、奈良全体の観光情報を発信する場が設けられると聞いていますので、大宮通り周辺のイベント情報はもちろん、県内各地の情報をお知らせすることによって、お客様の利便性が向上するといえます。

行政の皆さまには、奈良の魅力発信に繋がる動きを期待しています。

今年で4回目の大立山まつり！ 平城宮跡朱雀門ひろばで今年も開催します！

おわたてやま
大立山まつり2019

奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり

平成27年度から始まり、今年で4回目を迎える大立山まつり。今回、実行委員会会長に就任された海龍王寺住職の石川重元さんを始め、多くの民間の方々に参加していただき、柔軟な発想力を活かした企画により、平成31年1月に開催いたします。



祭りの愛称は「大立山まつり2019 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」。これは、万葉集におさめられた次の一首より名付けました。

あしひきの 山の木末の ほよとりて
かざしつらくは、千年寿くとそ

大伴家持
『万葉集』巻十八の四一三六

これは、ヤドリギを髪に挿して千年続く命を祈った歌で、天平時代の

宴席で詠まれました。長寿を祝う言葉の響きと意味より、祭りに集まる皆さまにもそうあってもらいたいというのがこの名前の由来です。

会場は、大極殿や朱雀門など奈良時代の都の雰囲気漂う、古代と現代が交わっている平城宮跡歴史公園朱雀門ひろばです。



会場となる朱雀門前(上)と復原遣唐使船(下)



祭りの2日間は県内の39市町村がそれぞれの地域の特徴を生かして、来場者に県内の各地域について知っていただけるよう、一堂に会し、県内各地のまつりや芸能、温かくて美味しいものやお土産もの等が味わえます。

一方、古代を体験できるワークショップや講話、奈良時代の儀式の紹介も予定しており、歴史への理解を深めていただくなど、いろいろな楽しみ方を通して、もっともっと奈良を知っていただきたいと思えます。ぜひ会場にお越し下さい。

古代と今が会おう2日間
奈良のいいところ冬まつり

新しい年を迎えた世界遺産・平城宮跡で、古代から今へと続く奈良のいいところ尽くしの冬のお祭りです。

伝統と歴史、講話や体験、美味しいものにお土産もの。奈良が大好きだという気持ちをもち寄り、心温まる冬の催しを是非お楽しみ下さい。

「今に伝わる大和の伝統芸能」

大和に長く伝えられてきたお祭りや伝統芸能。厳かな雰囲気だったり、笑いに溢れていたりとその様子は様々です。そうした奈良で長く受け継がれてきたこと、そして受け継いでゆく人々に出会っていただきたいと思えます。

そして、県内地域で行われるお祭りにもぜひ足を運んでいただきたいと思えます。



御杖村 桃俣の獅子舞



東吉野村 小川祭り

「地域自慢のあったかもんと特産品」

寒い季節だからこそ食べたいもの、美味しいものが奈良にはあります。このお祭りでは、奈良の各市町村が太鼓判を押す、地域ならではの「ごちそう」と特産品が並びます。地域のお野菜や特産品を生かした一皿、風土に根付いた一皿など、地域ならではの美味しい品々をこのお祭りで見つけて下さい。

また、今年度は出店されたメニューや店舗の広報に力を入れたいと思っています。お祭りが終わった後も、その美味しさを求めて県内各地域を訪れていただき、地元の空気とともに、地域自慢のごちそうや特産品を堪能して下さい。



今年度の大立山まつりで出店予定のあったかもんメニュー

【古代の奈良を見る・学ぶ・体験する】

奈良の伝統や風習についての講話や奈良の歴史が身近になる楽しくて為になるワークショップを行います。

【有料、要事前予約】

（ワークショップ）※一部

- ・天然顔料を使用した「うんげん彩色のかんざし作り」
- ・古代の鏡 海獣葡萄鏡等の型から作る「レプリカチョコレート作り」
- ・鑑真和上ゆかりの香木を使う「天然木でのお香作り」
- ・古代の甘味料・甘葛煎を作る「甘葛ブンブン」

（講話）※一部

- ・「地域に根付く信仰を伝える写真とことば 神饌からひもとく奈良の祭り」写真家 野本暉房さん・倉橋みどりさん
- ・「奈良時代に生きた若者たち―平城京式部省大学寮を識る―」作家 澤田瞳子さん ほか
- ・「古から今へ、こころとからだを救うということ」中将姫と薬草の奈良をめぐって」當麻寺中之坊 松村實昭師 ほか

※これらの内容は予定であるため、変更することがあります。詳細・予約方法はイベントHPをご覧ください。

【立山の展示】

大立山まつりの名前の由来にもなっている「立山」。これは、江戸時代から、今も県内各地に残る「造りものを身代わりとして厄を落とす」という風習です。広陵町大垣内地区、御所市東名柄地区、橿原市八木地区の3箇所立山を会場内に展示します。創意工夫された立山を是非会場でご覧下さい！



【大立山の展示及び点灯】

朱雀門前に四天王の大立山を展示します。また、夕闇を迎える頃、太鼓の演奏とともに大立山に灯りを点します。大立山の極彩色が浮かび上がる様子をお楽しみ下さい。



【まつりに関連したバスツアー】

大立山(四天王)にちなんで、様々な時代に作られた四天王のある社寺を巡るツアーと万葉集をテーマに飛鳥京・藤原京ゆかりの地を周遊するバスツアーを開催します。

(要事前予約・定員有)

【平城宮跡の古代行事を知る】

今年のまつりでは、会場の舞台がこれまでの大極殿院や朝堂院から朱雀門ひろばへと変わります。そして、奈良時代の大極殿においても行われていた「御齋会(ごさいえ・みさいえ)」という宮中行事の紹介と、そうした場で天皇が着用した礼服と礼冠を再現し、皆さまに披露します。古代のお正月に行われていた行事を通して、当時の雰囲気を感じて下さい。



冬だから奈良に行きたい
そう思ってもらえるお祭りに

奈良の冬はとても冷え込み、観光シーズンの閑散期となることから、冬季の宿泊観光客増加を目指して、このイベントは始まりました。雪景色や温泉、冬の伝統行事など、奈良の冬の魅力はたくさんあり

ます。このまつりは、まだ伝えきれない寒い寒い奈良の冬の魅力をたくさんの方に伝えていけるイベントにしたいと考えています。今年度の会場である平城宮跡の横を通る、大宮通り付近にお住まいの皆さまにも、当イベントには是非ご来場いただき、古代と今が出会う「奈良」を体験し、冬ならではの奈良を大いに平城宮跡で楽しんで下さい。

【ならの観光力向上課】

開催日：平成31年1月26日(土)
 ～1月27日(日)
 開催時間：26日11時～19時
 27日11時～18時
 会場：平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば
 問合せ先：奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会
 ☎0742-27-8974
 入場無料(飲食・体験等は一部有料)
 近鉄大和西大寺駅・JR奈良駅より無料シャトルバス運行予定(来場者用駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい)
 H.a: <http://hoguhogunara.jp>
 ツイッター、インスタグラム、フェイスブックでも情報発信中(「ほぐままつり」で検索)

古都奈良に早春を告げる「若草山焼き」 炎と花火が夜空を彩ります！

古くより続けられてきた若草山焼きを、今年は1月26日(土)(毎年1月第4土曜日に開催)に行います。

聖火行列は、春日大社境内飛火野で行われている大とんどの御神火をもらい受け、17時5分頃若草山麓の野上神社に向け、飛火野を出発します。



野上神社で山焼きの無事を祈ったのち、約33ヘクタールの草地に一齐に点火します。山への点火、消火作業のため、毎年

多くの消防団の方のご協力をいただいております。また、山への点火直前には、約600発の花火を打ち上げますので、併せてお楽しみください。その他、山麓ではステージイベントなども実施します。また、海外からの観光客の方をおもてなしするため、多言語対応のインフォメーションブースも設置します。



※長時間露光により撮影したもので、実際の見え方とは異なります

毎年、多くの方で賑わう若草山麓で迫力満点の若草山焼きをご堪能ください。また、人気撮影スポットの平城宮跡では、今年も大立山まつりが開催され、両行事を一緒にお楽しみいただけます。

なお、当日は若草山周辺などで交通規制が行われます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

今後とも若草山焼き行事を続けていくよう、皆さまのご協力をいただきながら、安全に細心の注意を払い実施してまいります。【奈良公園室】

開催日：平成31年1月26日(土)
開催時間：18時15分 大花火
18時30分 一斉点火
会場：若草山一帯
問合せ先：若草山焼き行事実行委員会
☎0742278677
入場無料

三社寺を光の回廊でつなぐ 「しあわせ回廊なら瑠璃絵」

奈良公園が美しい瑠璃色に包まれます！

今年で10回目を迎える「しあわせ回廊なら瑠璃絵」が2月8日(金)から14日(木)までの7日間、開催されます。

期間中は、奈良を代表する三社寺、春日大社・興福寺・東大寺に夜間特別拝観を実施していただくほか、光のオブジェの設置、光の夜神楽なども行われ、奈良公園一帯が幻想的な瑠璃色に包まれます。

また、ご好評いただいた「冬七タロード願いの花たんざく」が今年も、奈良春日野国際フォーラム庭園にて実施されます。庭園一面が美しい瑠璃色に染まり、訪れる方を優しく包み込みます。

第10回となる今年は、アニバーサリーイベントとして2月9日(土)に春日野園地でスカイランタン1000個を夜空に放つイベントが企画されています。とっておきの願いをこめて、優しい光で冬の夜空を彩りませんか。(有料・雨天、強風中止。10日(日)または、11日(月・祝)に順延)皆さま、あたたかいお召し物でぜひ、お越し下さい。【奈良公園室】



開催日：平成31年2月8日(金)～14日(木)
点灯時間：18時～21時
会場：春日大社・興福寺・東大寺・奈良国立博物館・奈良公園一帯
問合せ先：なら瑠璃絵実行委員会
☎0742200214
入場無料(一部有料)

朱雀門ひろばのにぎわい

地域にとって、かけがえのない場所となるように

昨年3月に開園した「平城宮跡歴史公園」は、開園以来多くの方々にご来場いただき、朱雀門ひろばの来場者数は、平成30年11月末の時点で、約23万人に達しました。

朱雀門ひろばでは、季節ごとに大きなイベントを開催しています。8月の「天平たなばた祭り」では、都跡小学校と佐保川小学校の5・6年生による「願い事」をテーマに描いた個性あふれるアートバック作品が、会場を明るく照らしてくれました。また、10月には「花の彩りと古代行事の再現」をテーマに「みつきうまし祭り」を開催し、たくさんの方に楽しんでいただきました。



地元小学生によるアートバック作品
「子どもたちの願い事が叶いますように…」

その他にも、天平うまし館では、10月に、遣唐使ゆかりの長崎五島列島の食材を使用したイベントなどを実施。平城宮いざない館でも、8月12月にかけて、写真展や平城宮跡を巡るウォーキングイベントなど、多彩な催しが行われました。



五島列島の食材を使用した
「奈良ポップアップレストラン」

季節ごとに変化する平城宮跡の景色の中、イベントに参加したり、ゆったり風景を眺めたり…。お気に入りのお過ごし方でお楽しみください。さまざまな平城宮跡の魅力に触れていただくことで、地元の皆さまにも親しまれる場所となるよう、取り組んでまいります。【平城宮跡事業推進室】

第一次大極殿院の

南門復原工事が

行われています

「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、奈良時代を今に感じる空間を創出する」という基本理念に基づき、国土交通省によって、第一次大極殿院の南門復原工事が行われています。平成31年度以降は、南門復原工事が本格化し、今春には、工事現場が一般に公開される予定です。



今春以降の工事現場のイメージ

平城宮跡歴史公園 朱雀大路東側地区 (県整備区域)の 整備検討状況

平成20年3月に国土交通省により策定された「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域基本計画」の中で、歴史体験学習館は、「奈良全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設」と位置付けられており、平成30年2月に国土交通大臣の事業認可をいただきました。

平城宮跡事業推進室では、これまで検討委員会を計4回(平成30年10月末時点)開催し、施設の機能などについて、さまざまな意見交換を行いました。

歴史体験学習館の整備については、検討委員会での議論などを基に計画(案)を作成し、パブリックコメントによる県民の皆さまのご意見等を踏まえて、基本計画を策定したいと考えております。

地元の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、整備を進めてまいります。

【平城宮跡事業推進室】

平成31年春「奈良公園バスターミナル」が開業します！

奈良公園においては、公園中心部まで観光バスが流入することで、慢性的な交通渋滞が発生しています。

このため、奈良県では、奈良公園のエントランス（県庁舎東側）にバスターミナルを整備することで、公園中心部への観光バスの流入を抑制し、公園内が快適な周遊環境となることを目指しています。

昨年11月から、建物の内装や外構工事を行っており、今後、バスターミナル内に設ける展示施設や飲食・物販店の工事も進めていきます。

施設の名称については、これまで「(仮称)登大路バスターミナル」としてきましたが、今回、正式な名称を



昨年の建設の状況(11月末)

『奈良公園バスターミナル』に決定しました。

「奈良公園バスターミナル」内に設ける展示施設では、奈良公園の歴史や文化について映像や展示で体験学習ができ、自分だけの観光マップを作れるコーナーがあるなど、楽しく奈良の魅力を学ぶことができます。

ほかにも、観光案内所や、観光バスの待ち時間や休憩時間を快適に過ごせるよう、カフェやレストラン、土産物店、ベンチ等のアメニティも揃っています。

「奈良公園バスターミナル」のオープンは平成31年春を予定しています。

【奈良公園室】



奈良公園バスターミナルの完成イメージ

名勝地・奈良公園「高畑町裁判所跡地」

高畑町裁判所跡地は、浮見堂と鶯池の南側、奈良公園の南端に位置する広さ1.3haの敷地です。

当該地では、歴史的・文化的価値の高い庭園の復元整備を主目的に、民間活力を導入しながら、庭園の両脇へ宿泊施設と交流・飲食施設を整備します。

庭園の復元整備

現在、当該地では竹林の繁茂や塀の倒壊等により、名勝地として評価された環境を損ねており、十分に維持・利活用出来ていない状況にあります。

一方で、敷地内に現存する庭園は、明治期から大正期にかけての所有者であった、大阪の財閥「山口家」が作庭したものです。当時、志賀直哉や武者小路実篤、小見寺八山^{おみでらほやさん}など、日本を代表する文化人が交流を図った歴史があり、奈良公園を代表する庭園として、専門家から高い評価を受けています。この庭園を県が復元し、一般公開をすることで、今まで埋もれていた奈良公園の魅力に、より多くの方に触れて頂く場を提供します。

2020年春のまちびらきを目指して

宿泊施設、交流・飲食施設を整備する民間事業者と調整を進め、工事に着手します。周辺の安全や環境に配慮して工事を進めますので、ご協力宜しくお願いいたします。

当該地のまちびらきは、2020年春。ご期待ください！【奈良公園室】



「高畑町裁判所跡地」敷地全体の整備イメージ



庭園と調和した交流・飲食施設(中央)と茶室(左)

奈良公園周辺の渋滞緩和に向けて 春に引き続き社会実験第2弾を行いました！

奈良県では、奈良市等とともに「奈良市中心市街地公共交通活性化協議会（以下、「協議会」）」を設置し、奈良公園周辺の渋滞対策に取り組んでいます。

協議会では、昨年5月に、奈良公園周辺へのマイカー流入を抑制するため、少し離れた奈良市菅丁R奈良駅駐車場の利用者に、乗車人数分の「木簡型のバス一日フリー乗車券（以下、木簡切符）」を無料で進呈する社会実験を行ったところです。

この社会実験で一定の効果を得られたことから、更に取組をパワーアップさせて、奈良公園周辺への来訪者が多い正倉院展開催期間中の昨年11月3、4日の2日間で第2弾となる社会実験を実施しました。

対象駐車場を、奈良市菅丁R奈良駅駐車場に加え、平城宮跡周辺の国道24号高架下駐車場（158台）や奈良市役所駐車場（300台）及び商業施設ミ・ナアラ駐車場（200台）にも拡大。対象駐車場にマイカーを停



め、アンケートにご協力頂いた方に、乗車人数分の「木簡切符」を無料進呈しました。

また、平城宮跡周辺駐車場からの移動については、平城宮跡と春日大社の間を結ぶ「ぐるっとバス」の大宮通り直行ルートを試験運行し、スムーズな周遊観光をしていただきました。この社会実験には、新聞各紙の報道もあり、大変多くの方にご参加いただきました。



アンケート会場の様子（ミ・ナアラ玄関口）

「木簡切符」を無料進呈する様子



「奈良春日野国際フォーラム薨」や「平城宮跡」では、「天平菊絵巻」が社会実験と同時開催されており、多くの人で賑わいました

（「奈良春日野国際フォーラム薨」会場）



今回の取組もあり、一部の渋滞は緩和されましたが、依然として観光シーズンを中心とした奈良公園周辺の渋滞は発生しております。



「ぐるっとバス」大宮通り直行ルート（試験運行）（『宮跡庭園』バス停）
11/3は、「奈良公園ルート」と「平城宮跡ルート」、「大宮通り直行ルート」合わせて約4,700人の方にご利用いただきました

今回の社会実験に関する検証を踏まえ、引き続き、奈良公園周辺の渋滞緩和に向けて取り組んでまいります。

今後の「ぐるっとバス」について

協議会が運行する「ぐるっとバス」は、奈良公園周辺を周遊する奈良公園ルートと平城宮跡などを周遊する平城宮跡ルートの2ルートがあります。更なる利便性の向上とともに、大宮通りがイベント通りとして発展することなどを目指し、今回、試験運行した「大宮通り直行ルート」を含めた見直しを検討しています。

今後、さらに便利になる大宮通りにご期待ください。【道路環境課】

大宮通り新ホテル・交流拠点事業の動き

プロジェクトの進捗状況

県が整備する交流拠点施設（コンベンション施設、屋外・屋内多目的広場、観光振興施設等からなる複合施設）は、順調に建築本体の地上部分の工事を進めています。

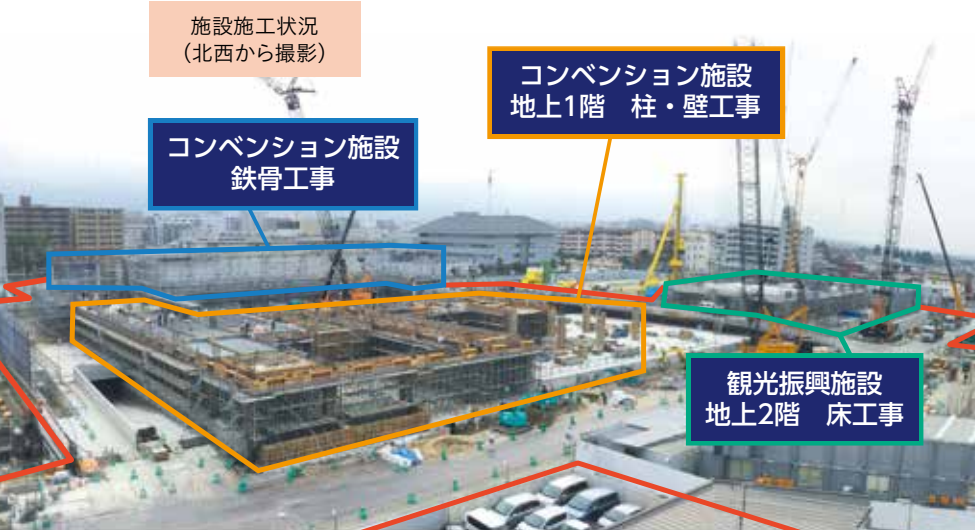
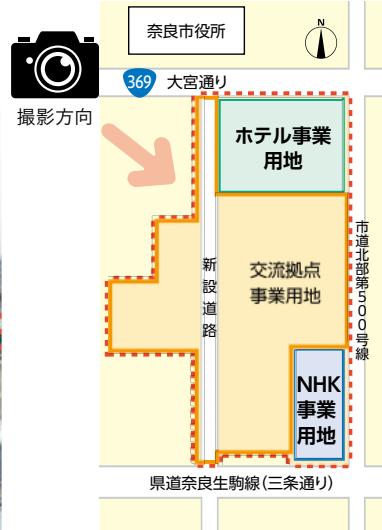
昨年は、いつも増して度重なる台風の襲来を受けましたが、現場はそれらの風雨の影響にも負わず、関係者が一丸となって、無事困難を乗り越えてまいりました。

一方、ホテル事業やNHK事業も、いよいよ地上部分の工事に着手し始めており、1年余りを残してラストスパートに入ったという感じです。

また、平成31年度は、2020年春の開業後に、この場所をどのような「まち」にしていくかを、地元の方々と関連企業などと一緒に検討していきたいと考えております。

地元の皆さまをはじめ、県民の皆さまに愛される「まち」にするため、引き続き関係者一丸となって精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

【大宮通り新ホテル・交流拠点事業室】



施設施工状況
(北西から撮影)

東面 (コンベンション)



北面 (ホテル)



南面 (NHK)



【トピックス】

まもなく、現場の周りを囲っている壁に、各事業のPR看板が掲示されます！(事業によっては、既に掲示されている可能性があります。)

各事業の特色が表れていて、ちょっと面白いと思いますので、現場周辺にお越しの際は、是非少し足を止めてご覧いただければと思います。

冬の彩り

大宮通りイルミネーション点灯

冬季に奈良県を訪れる観光客の「おもてなし」として平成25年度より始めた大宮通りのイルミネーションを今年度も実施しています。

3月14日まで点灯していますので、恒例となった「冬の彩り」をお楽しみください。

【道路管理課】

点灯時間・平成30年11月22日(木)～平成31年3月14日(木)
点灯区間・奈良中央郵便局前～高天交差点



ミュージックフェストなら2019 奈良の街中が音楽であふれる23日間

今年で8回目の開催となる「ミュージックフェストなら」。県内の社寺等の歴史文化遺産を会場に、クラシックをはじめとした上質な音楽によるコンサートを開催するほか、奈良公園春日野園地では、「ファミリーコンサート」や「沖縄音楽」などの野外コンサートも開催予定。

期間中は色々なコンサートに出かけて音楽をお楽しみください。



春日野園地
野外コンサート



社寺コンサート

ぐるっとミュージック

さらに、今年はいぐるっとバスでコンサート会場を巡る「ぐるっとミュージック」を初開催。平城宮跡歴史公園朱雀門ひろばや奈良公園春日野園地をはじめ、ぐるっとバスのルート周辺で多くのコンサートを開催予定です。

平城宮跡歴史公園朱雀門ひろばや奈良公園春日野園地のコンサートでは、特設飲食ブースも出店予定。お好きな会場をハシゴして、コンサートを一日中満喫してみませんか。

【文化振興課】

開催日：2019年5月18日(土)

～6月9日(日)

開催場所：社寺を中心に、平城宮跡歴史公園朱雀門

ひろば、奈良公園、県

営馬見丘陵公園、ホー

ル、駅前など県内各地

問合せ先：ミュージックフェストな

ら実行委員会

☎0742-27-8917

ミュージックフェスト
で検索

一部有料公演あり

大宮通りジャーナルマップ



イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
大立山まつり2019 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり	1月26日(土)~27日(日)	平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば	奈良県冬季誘客イベント 「大立山まつり」実行委員会 ☎0742-27-8974	入場無料 (飲食・体験等は一部有料)
若草山焼き	1月26日(土)	若草山一帯	若草山焼き行事実行委員会 ☎0742-27-8677	無料
しあわせ回廊なら瑠璃絵	2月8日(金)~14日(木)	春日大社、興福寺、東大寺、 奈良国立博物館、奈良公園一帯	なら瑠璃絵実行委員会 ☎0742-20-0214	入場無料(一部有料)
春日大社 節分万燈籠	2月3日(日)	春日大社	春日大社 ☎0742-22-7788	回廊内特別参拝は500円。 また、3,000円以上も初穂料で 献燈可
東大寺 修二会	3月1日(金)~14日(木)	東大寺 二月堂	東大寺事務所 ☎0742-22-5511	無料
平城京天平祭	5月上旬(予定)	平城宮跡	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	入場無料 (飲食・体験等は一部有料)
ムジークフェストなら 2019	5月18日(土)~6月9日(日) 予定	平城宮跡、春日野園地、県文化会館 ほか県内各地	ムジークフェストなら実行委員会 ☎0742-27-8917	無料 (一部有料)

「ぐるっとバス」ルートマップ



※上記ルートは、2019年3月までのルートです。
「ぐるっとバス」の詳細な運行情報や、
2019年4月からのルートについては、
〈HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」〉をご覧ください。
<http://www.nara-access-navi.com/>



ぐるっとバスの乗降方法

奈良公園ルート

①各ルートバスの前扉から乗車。
②料金は100円前払いです。
ICカードも使えます。
③後扉から降車。

平城宮跡ルート

大宮通りジャーナル 冬号 (第10号) 2019年1月発行

発行 奈良県
編集 県土マネジメント部まちづくり推進局
平城宮跡事業推進室

●各事業に関するお問い合わせ
平城宮跡事業推進室 Tel.0742-27-8973
奈良公園室 Tel.0742-27-8036
大宮通り新ホテル・
交流拠点事業室 Tel.0742-27-8873

道路環境課 Tel.0742-27-8667
道路管理課 Tel.0742-27-7502
ならの観光力向上課 Tel.0742-27-8974
文化振興課 Tel.0742-27-8917